

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	保育課 No.37	
施策	(3) 参画を助ける環境の整備							
取組	一時預かり事業、時間外保育事業、病児・病後児保育事業等の充実							
具体的な取組内容	働く男女を支援するため、休日保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育などの各種保育・子育て支援サービス事業を推進する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が、多様な保育サービスを受けることで、就労等で保育を必要とする父母が安心して子どもを預けられる。							
指標	一時、休日、延長、病児・病後児保育実施園数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標						一時：10園 休日：2園 延長：32園 病児・病後児：1園		
実績	一時：10園 休日：2園 延長：32園 病児・病後児：1園							
2018年度	活動計画	現状維持を目標としながら、平成31年度開園予定の新園（私立）での一時保育、延長保育の実施を検討していく。					進捗状況	
	活動実績	平成31年度開園のプライト保育園及び麦のうさぎ保育園と一時保育、延長保育の実施について調整した。					A	
	課題等	子ども・子育て支援事業計画の中で市民ニーズを把握する必要がある。						
次年度の活動計画	令和3年度開園予定の新園（私立）が決定次第、一時保育、延長保育の実施について調整を行う。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）


基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					課	子育て支援課 No.38	
施策	(3) 参画を助ける環境の整備							
取組	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の推進							
具体的な取組内容	風間保護者が就労等で家庭にいない小学生を対象に放課後児童健全育成事業を実施し、児童の健全育成を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	それぞれの家庭の状況を踏まえて、働く保護者が安心して子どもを預けられるように子育てができるようになる。							
指標	①児童クラブへの入会申込をした児童のうち、どの児童クラブにも入会できなかった児童の数				指標の出典	-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> 0人						0人	
実績	0人							
指標	②児童クラブ入会登録児童数				指標の出典	-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> 1,852人						2,000人	
実績	2,077人							
2018年度	活動計画	働く保護者が安心して子どもを預けられるように、施設や支援員等の環境を整備していく。					進捗状況	
	活動実績	公営 47施設 定員1965人 利用1958人 民間 4施設 定員 146人 利用 119人					A A	
	課題等	学童の二一ズの高まり、6年生までの受入拡大により、施設、児童厚生員ともに不足している。						
次年度の活動計画	公営 48施設 定員2000人 民間 4施設 定員 146人							

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	人事課 No.39	
施策	(3) 参画を助ける環境の整備							
取組	市職員における介護離職ゼロに向けた取組の推進							
具体的な取組内容	高齢化の進行に伴う介護離職等を防止するため、介護休業制度の定着を促進する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	全ての職員が、介護休業制度を十分認識し、夫婦・家族で介護を担えるようになる。							
指標	介護休業制度の周知回数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標						3回		
実績	1回							
2018年度	活動計画	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、積極的に職員へ制度を周知する。					進捗状況	
	活動実績	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、積極的に職員へ制度を周知した。					C	
	課題等	実際に周知できているか不明。						
次年度の活動計画	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、引き続き積極的に職員へ制度を周知する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.40	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	LGBT等、多様な性に関する理解促進							
具体的な取組内容	性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が性的少数者（LGBT等）に対する対応方法を理解し、多様性を認め合うようになる							
指標	市民向け啓発回数			指標の出典				
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>	職員向けに実施	市民向けに実施			2回		
実績	-	7回						
2018年度	活動計画						進捗状況	
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい私」発見講座の受講生に啓発 ・男女共同参画週間イベントにてLGBTの講演を実施／講師：特定非営利活動法人ASTA ・広報あじょう7月15日号にてLGBTの記事を掲載 ・男女共同参画月間イベントにてトランスジェンダーが主人公の「彼らが本気で編むときは、」を上映 ・市内年少児の保護者全員にLGBTのリーフレットを配布 ・公立保育園・幼稚園の園長会にて研修を実施 ・職員向けにLGBT研修を実施（60名参加） 					A	
	課題等	まだまだLGBT等の正しい知識持っていない人が多い。						
次年度の活動計画	性的少数者(LGBT等)の啓発を実施する							


第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.41	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発							
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	ハラスメントをする人が人権侵害をしないようになる							
指標				指標の出典				
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> 							
実績	市公式ウェブサイトに掲載							
2018年度	活動計画	市公式ウェブサイト等に様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について掲載して啓発する					進捗状況	
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市公式ウェブサイト等に様々なハラスメント及びDVの基礎知識及び相談先を掲載 ・広報あんじょう11月1日号に女性を暴力から守る週間の記事を掲載 ・イベント開催時に、デートDVについてマンガで掲載した安城市男女共同参画パンフレットを参加者に配布 ・女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布 					A	
	課題等	ハラスメント等を受けている人が相談できているか把握できない。						
次年度の活動計画	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について啓発する							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民課 No.41
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容		様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		小・中学生を含めた市民が、人権問題の知識を得ることで、誰もが住みよい社会となる。						
指標		-		指標の出典		-		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度>						-	
実績								
2018年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校向け啓発活動を実施する 一般向け啓発活動を実施する 					進捗状況	
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 小学校人権教室（1校）中学校人権ライブ（1校）実施 七夕啓発（1回）実施 					B	
	課題等	効果のあがる一般向け啓発事業の内容を考える必要がある。						
次年度の活動計画		人権教室（小学校）、人権ライブ（中学校）、七夕等での街頭啓発						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	商工課、No.41	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発							
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	事業主が、人権侵害の防止の取り組みをするようになる。							
指標	ハラスメントに関する啓発回数			指標の出典	-			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<div style="display: flex; align-items: center;"> <2016年度>  </div>							
実績	0回							
2018年度	活動計画	情報があれば商工会議所会報などを通じて市内事業所に向けての啓発を行う。					進捗状況	
	活動実績	事業主からの情報提供があれば、啓発を実施する準備を進める。					C	
	課題等	ハラスメント防止に対する効果的な啓発方法の検討。						
次年度の活動計画	今年度と同様の取り組みを継続する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	学校教育課 No.41	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発							
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	教職員が、様々なハラスメントや人権侵害問題を意識するようになる。							
指標	教職員向け研修会への参加者割合			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>						50%	
実績	25%							
2018年度	活動計画	県主催の既存の研修会を洗い出し、各校への参加を呼びかける。					進捗状況	
	活動実績	県主催の研修会を各学校へ啓発し、教職員の約25%が参加した。					B	
	課題等	教職員の参加を呼びかけても、自主的な参加者が少ない。						
次年度の活動計画		県主催の研修会を各学校へ啓発し、参加を呼びかける。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.42	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	様々な相談事業の実施							
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。							
指標	DVに関する相談件数			指標の出典	-			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	→							
実績	<2016年度> 1件	0件					-	
2018年度	活動計画	相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携を図れるようにする。					進捗状況	
	活動実績	今年度は、単身者からの相談がなかったため、市民協働課での対応実績はなかった。関係部署間の連携を図れるよう市内DV会議を開催した。					C	
	課題等	市役所内のDVの対象者の対応がしっかり決まっていないため、スムーズに相談に応じる体制ができていない（単身者など）。市民協働課でのDV担当者が1人のため、担当者が不在の場合の対応ができていない。						
次年度の活動計画	相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携を図れるようにする。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民課, No.42
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容		女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標		女性が安心して、相談できるようになる。						
指標		女性相談の相談件数			指標の出典		-	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 71件	→						
実績	80件							
2018年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談の実施状況を把握して適切な相談業務を継続して開催する。 DV被害者の生活（離婚等）の相談の実施。 					進捗状況	
	活動実績	女性相談51回実施					B	
	課題等	関係各課との情報共有ができていない。						
次年度の活動計画		女性相談の実施						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	学校教育課 No.41
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容		様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		教職員が、様々なハラスメントや人権侵害問題を意識するようになる。						
指標		教職員向け研修会への参加者割合			指標の出典		—	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度>	→					50%	
実績	—	25%						
2018年度	活動計画	県主催の既存の研修会を洗い出し、各校への参加を呼びかける。					進捗状況	
	活動実績	県主催の研修会を各学校へ啓発し、教職員の約25%が参加した。					B	
	課題等	教職員の参加を呼びかけても、自主的な参加者が少ない。						
次年度の活動計画		県主催の研修会を各学校へ啓発し、参加を呼びかける。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.42	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	様々な相談事業の実施							
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。							
指標	①母子相談の相談件数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> 636件							
実績	1,137件							
指標	②子育て相談の相談件数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> 123件							
実績	152件							
指標	③DVや児童虐待に関する相談			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> 174件							
実績	155件							
2018年度	活動計画	初度の相談窓口から、相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携を図れるようにする。					進捗状況	
	活動実績	ひとり親家庭への相談、子育て相談件数は増えている					A A A	
	課題等	特になし						
次年度の活動計画	今後とも相談、助言、指導できる体制を維持する							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	社会福祉協議会、No. 42
施策		(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組		様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容		心配ごと相談の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標		様々な事情を抱える利用者が分け隔てなく利用しやすくなる。						
指標		心配ごと相談件数			指標の出典		-	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 64件	→						
実績	64件	45件						
2018年度	活動計画	子ども生活相談は、(仮称)子ども発達支援センターへ移管するが、生活における悩みごとについて相談事業を推進する。					進捗状況	
	活動実績	心配ごと相談は、週5日(火曜日から土曜日、予約不要)開催し、相談しやすい体制をとっている。子どもの生活相談は、障害のない子どもに関する相談など、あんステップの対象とならない相談があるため、引き続き継続している。いずれの相談窓口も必要に応じて各種相談窓口や専門職と連携し解決を助ける役割や、相談ができる場として相談者の悩みを整理する支援の場となっている。					B	
	課題等	心配ごと相談では、解決の難しい相談もあり、専門の相談窓口や専門職との連携が引き続き必要。包括支援センターなど、専門の相談窓口が充実し、直接専門窓口へ行けたり、地域の福祉活動の中で悩み事がキャッチされ専門機関につながるなど、心配ごと相談窓口を経由しなくても専門機関で相談できるケースが増加している一方で、どこに相談に行けばいいのかわからない悩みを聞いてほしい人の相談を聞ける相談窓口も必要とされている。						
次年度の活動計画		心配ごとを相談できる身近な窓口として、利用者が分け隔てなく利用しやすい相談所の運営を継続する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.43	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施							
具体的な取組内容	DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談できるようになる。 DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。							
指標	DVの啓発回数			指標の出典				
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> 5回	—————→					5回	
実績	9回							
2018 年度	活動計画	DV防止のチラシ等を作成・配布する。					進捗状況	
	活動実績	① H30.6.7 「新しい私」発見講座 男女共同参画の講義でDVについて講話し、DVミニパンフ配布 ② H30.6.23 男女共同参画週間イベント会場でDVミニパンフ配布 ③ H30.10.7 安城福祉まつりにて国際ソロプチミストがDVミニパンフを配布 ④ H30.10.10 DV職員研修実施 ⑤ H30.10.28 男女共同参画月間イベント会場でDVミニパンフ配布 ⑥ H30.10.29 男性へのDV相談カードを各公共施設へ配布 ⑦ H31.2.15 さんかくセミナーにてDVミニパンフを配布 ⑧ H31.2.23 サテライトセミナーにてDVミニパンフを配布 ⑨ 随時 公共施設のトイレ等にDVミニパンフ及び男性相談窓口カード（県より配布）を設置					A	
	課題等	多くの人に手に取ってもらえるように、配布場所や配布方法を検討する必要がある。						
次年度の活動計画	DV防止のチラシ等を作成・配布する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶				担当課	子育て支援課 No.43	
施策		(2) DVの啓発と早期対応						
取組		DV防止に向けた情報提供・啓発の実施						
具体的な取組内容		DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。						
男女共同参画の視点からの達成目標		DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談できるようになる。 DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。						
指標		DVの啓発人数		指標の出典				
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度>						市内21小学校 (全新1年生保護者)	
実績		21小学校						
2018年度	活動計画	小学校入学前検診にて、保護者へDV及び虐待についての啓発を行う。					進捗状況	
	活動実績	31年1月～2月の間に開催される小学校入学説明会において虐待について啓発した。					A	
	課題等	現在は小学校入学説明会のみだが、啓発方法については検討						
次年度の活動計画		今後も継続をしていく						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.44
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	DVに関する相談対応の実施						
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	被害に合った時にすぐに相談できる体制をつくることで、市民が早期に相談ができるようになる						
指標	DV被害を受けた後、どこにも相談しなかった人の割合			指標の出典			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	—————→					50.6%	
実績	<2016年度> 52.5%	—					
2018年度	活動計画	DV庁内会議で被害者に応じた相談窓口体制づくりの検討する				進捗状況	
	活動実績	DV庁内会議を開き、市民協働課、市民安全課、市民課（相談室含む）、経営管理課でDV相談体制について協議した。				C	
	課題等	市民アンケートにて指標の数値を求めるが、2018年度は市民アンケートを実施していないため、把握できていない。					
次年度の活動計画	DV庁内会議で被害者に応じた相談窓口体制づくりの検討する						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民課 No.44	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	DVに関する相談対応の実施							
具体的な取組内容	DV被害者への早期対応を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、相談しやすくなる。 DV被害者が、住民票等の支援措置を受けることで、生活の建て直しがしやすくなる							
指標	DVに関する相談件数			指標の出典		—		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標								
実績	<2016年度> 8件	3件						
2018年度	活動計画	相談業務を引き続き広報で周知し、支援措置業務の実施及び業務内容を市の公式ウェブサイトに掲載する。					進捗状況	
	活動実績	広報での相談窓口の周知12回、ウェブサイトでの周知、相談窓口一覧表（紙）の配布					B	
	課題等	現状では対象者によって相談窓口が異なり、具体的な周知ができていない。						
次年度の活動計画	広報での相談窓口の周知12回、ウェブサイトでの周知、相談窓口一覧表（紙）の配布							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.44	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	DVに関する相談対応の実施							
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が安心して相談できるようになる。							
指標	DVに関する相談件数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標								
実績	<2016年度> 22件	21件						
2018年度	活動計画	DV被害者の相談窓口は、男性と女性、母子父子、カップルなど相談先を明確にすることで、早期対応および情報の漏洩を防ぐことができる。（庁内全体で対応策を検討する。）					進捗状況	
	活動実績	DV相談については対応できている					B	
	課題等	相談先について明確化できていない部分がある						
次年度の活動計画	庁内会議を通じて連携を図り、相談先の明確化についてはひきつづき検討							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.45	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	被害者支援にあたっての関係機関との連携強化と適切な一時保護の実施							
具体的な取組内容	女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と横断的に連携をとり、被害者を適切に一時保護する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と連携して、職員が、被害者を適切に一時保護をし、身体の安全を確保できるようになる。							
指標	一時保護件数	指標の出典			-			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> 1件	→					-	
実績	1件							
2018年度	活動計画	話をじっくり聞き、本人の意思と一時保護の必要があるかを判断し、必要な場合には迅速な対応に努める。					進捗状況	
	活動実績	本人の意思により、一時保護を行った。					A	
	課題等	特になし						
次年度の活動計画		今後も関係機関と連携を図り、身の安全を確保する。						


第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.46	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	被害者の自立支援							
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が自立した生活が送れるようなる							
指標	-		指標の出典		-			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>							
実績	-							
2018年度	活動計画	行政はDV被害者の希望を聞き取り、庁内関係部署と連携して必要な支援をする					進捗状況	
	活動実績	今年度は、単身者からの相談がなかったため、市民協働課での対応実績はなかった。					C	
	課題等	庁内関係部署との連携をしっかりとる必要がある。						
次年度の活動計画	行政はDV被害者の希望を聞き取り、庁内関係部署と連携して必要な支援をする							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民課 No.46
施策		(2) DVの啓発と早期対応						
取組		被害者の自立支援						
具体的な取組内容		DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		DV被害者が、市民相談、女性相談、法律相談などを活用し、生活の建て直しの方法を見出す。						
指標		—		指標の出典		—		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度>						—	
実績	—							
2018年度	活動計画	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を行う。					進捗状況	
	活動実績	市民相談（開庁日）、女性相談（年間51回）、法律相談（年間83回）など支援できる相談業務を実施した。					B	
	課題等	関係部署との連携が必要である。						
次年度の活動計画		市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を行う。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.46	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	被害者の自立支援							
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	市が、支援措置や一時保護をした母子に対して今後の生活設計を十分に聞き取り、自立した生活が送れるように庁内が連携して支援することができる。							
指標	関係部署とのコア会議回数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標								
実績	0回							
2018年度	活動計画	DV被害者の母子が、自立した生活が送れるよう各支援の担当窓口につなげ、連携して引き続きケアをしていく。					進捗状況	
	活動実績	庁内連絡会を実施しており、各担当と連携をしている					B	
	課題等	担当部署の明確化ができていない部分がある						
次年度の活動計画		各担当と連携をしながら進めていく						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.47	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化							
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	研修を受講した職員がDVに対する認識や理解を深めることができる。							
指標	DV職員研修の実施回数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標							1回	
実績	1回							
2018年度	活動計画	市民協働課、子育て支援課と共同で職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。					進捗状況	
	活動実績	10月10日に全課1名程度（60名）が参加してDV職員研修を実施。講師：増井 さとみ氏（ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA）					A	
	課題等	参加者の中には、DV被害者と接する機会がないと考える職員がいた。もっとDVについての理解を促し、被害者が市役所へ来た時に、どの課の窓口でも正しい対応ができるように研修が今後も必要である。						
次年度の活動計画	市民協働課、子育て支援課と共同で職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民課 No.47	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化							
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	職員が、住民情報の支援措置の制度を認識することで、DV被害者の個人情報が守られる。							
指標	—		指標の出典		—			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>							
実績	—							
2018年度	活動計画	住民情報の支援措置の制度について、関係課の職員へ説明会を毎年度実施する。					進捗状況	
	活動実績	説明会を実施した（1回）					B	
	課題等	説明会の内容として、制度概要だけでなく、具体的な連携方法についても定めることにより、支援措置制度の認識を高める。						
次年度の活動計画	引き続き、関係課の職員へ説明会を実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.47	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化							
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	研修を受講した職員が、DVに対する認識や理解を深めることができる。							
指標	市職員向けDV研修の参加者数			指標の出典	社会福祉事務所新任研修受講者			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標								
実績	<2016年度> 40人						-	
	31人							
2018年度	活動計画	職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。					進捗状況	
	活動実績	社会福祉事務所新任研修において業務を説明したため、2018年度は実施しなかったが、市民協働課でDV職員研修を実施した。					B	
	課題等	特になし						
次年度の活動計画	DVに対する認識や理解できる方法を検討							